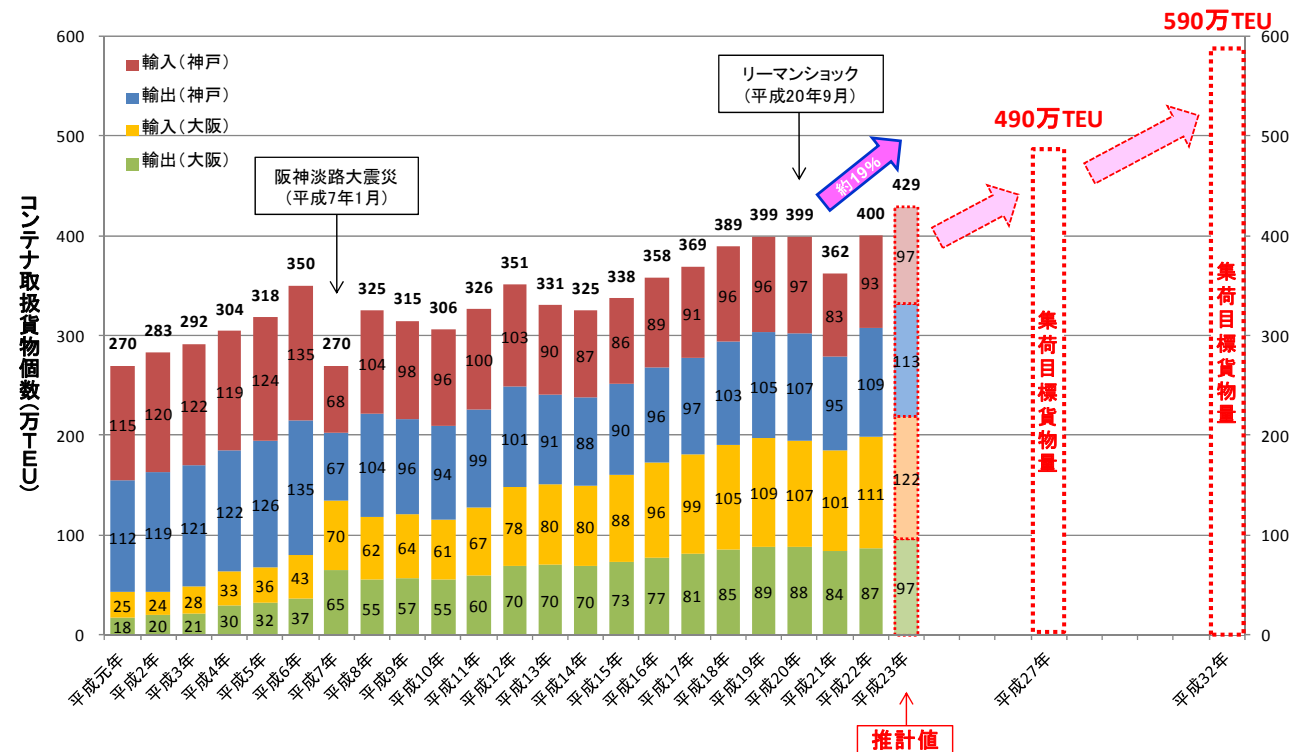


# 《港と港の連携》 大阪湾諸港の包括的な連携施策の具体化に向けた取組

平成24年 3月14日  
国際物流戦略チーム第8回本部会合  
資料2

## 阪神港における外貿コンテナ取扱貨物個数の推移と目標



※大阪市「大阪港湾統計年報」、「大阪統計速報(月報)」、神戸市「神戸港大観」及び「統計神戸港(平成22年速報)」をもとに近畿地方整備局港湾空港部作成。  
※平成23年の大阪港及び神戸港の数値は、各々、平成23年1月～11月までの数値(速報値)及び平成23年10月までの数値(速報値)をもとに算出した推計値。

## 関西イノベーション国際戦略総合特区の取組状況

- ① 関西イノベーション国際戦略総合特区は、我が国産業の中核を担う世界トップレベルの産業と関西の自治体とその区域を越えて一体となって取り組む特区である。
- ② 世界水準の豊富な地域資源の活用と徹底した選択と集中により、特区事業を実施する区域として設定する。

重点的に取り組む6つのターゲットでイノベーションを創出

- ① 医薬品
- ② 医療機器
- ③ 先端医療技術(再生医療等)
- ④ 先制医療
- ⑤ バッテリー
- ⑥ スマートコミュニティ

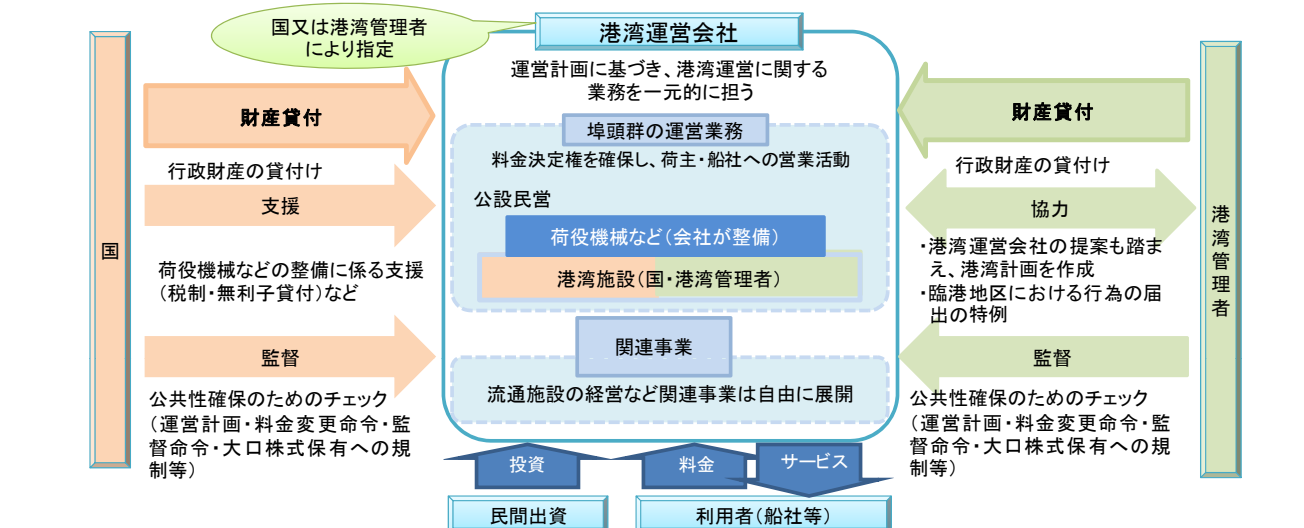
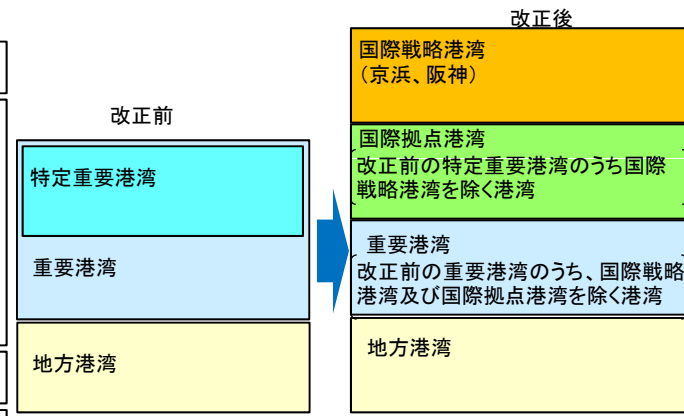
イノベーションの創出を支える国際物流分野として  
阪神港国際コンテナ戦略港湾、関西国際空港の機能強化を推進する。

関西国際戦略総合特区の拠点イメージ

## 港湾法及び特定外貿埠頭の管理運営に関する法律の一部を改正する法律

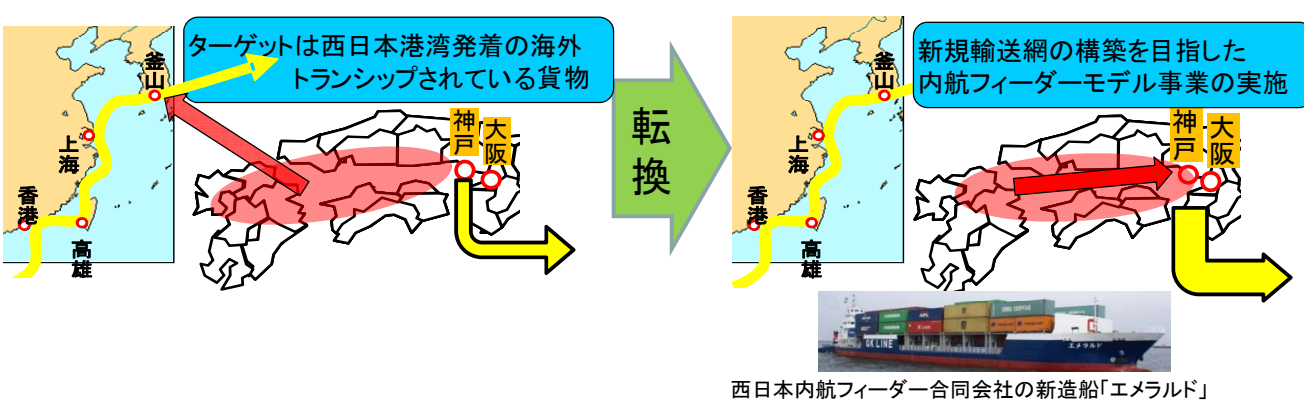
### 改正のポイント

- ① 港湾の種類(港格)の見直し(右図)
- ② 直轄港湾工事の国費負担率の引き上げ及び対象施設の拡充
  - コンテナターミナルの耐震岸壁  
水深16m以上(7/10)、水深14m～15m(2/3)、水深12m～13m(5.5/10)
  - コンテナヤードの直轄事業化  
国費負担率 2/3(水深16m以上)
- ③ 港湾運営会社制度の創設(下図)
- ④ 港湾運営会社に対する無利子貸付制度の創設



## 内航フィーダーサービスの充実のためのモデル事業

- ・欧米基幹航路への輸送において、西日本港湾から釜山港など東アジア主要港でトランシップされているコンテナ貨物を、国際コンテナ戦略港湾(神戸・大阪港)へと転換するモデル事業を実施する。
- ・平成23年度は、釜山トランシップから奪還するコンテナ数として、5,000TEU※を見込んでおり、次年度以降は更に奪還数を増やす予定。  
※モデル事業実施者が把握している釜山トランシップから内航フィーダーへの転換貨物量。



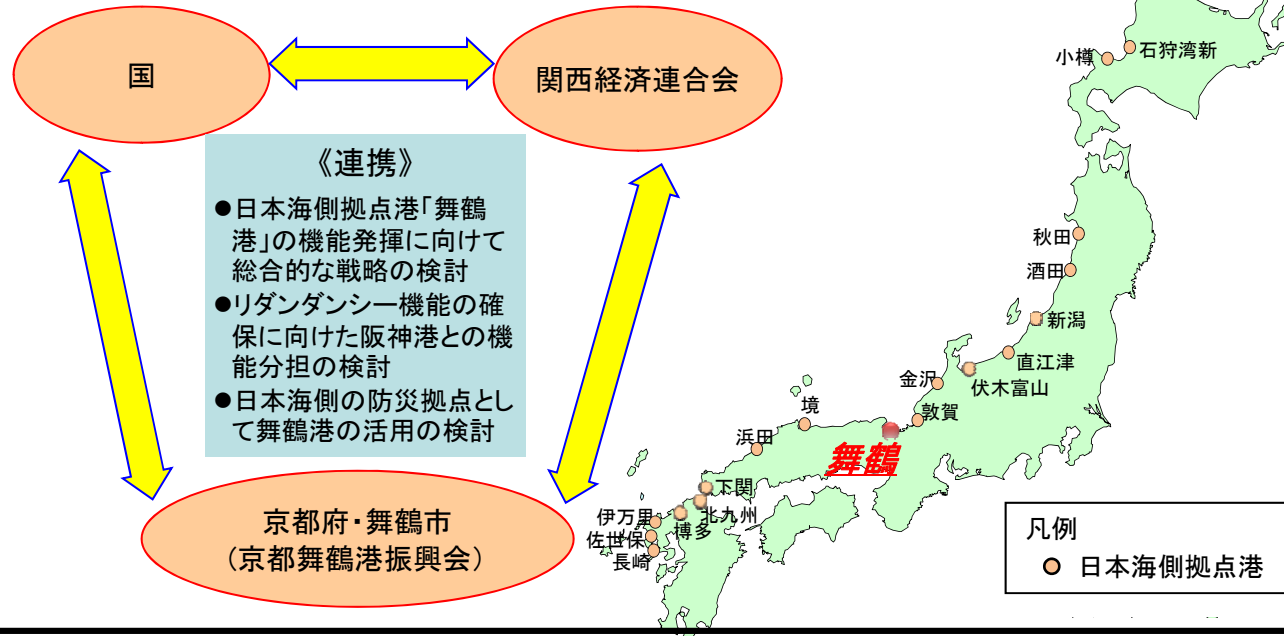
# 《港と港の連携》 大阪湾諸港の包括的な連携施策の具体化に向けた取組

平成24年3月14日  
国際物流戦略チーム第8回本部会合  
資料2

## 日本海側のゲートウェイ機能強化策の検討、策定

舞鶴港が「国際海上コンテナ」、「国際フェリー・国際RORO船」、「外航クルーズ(背後観光地クルーズ)」として「日本海側拠点港」に選定された(H23.11.11)。

<これまでの取組>  
環日本海ゲートウェイ機能強化検討会議(平成20年6月3日設置)  
●検討テーマ  
①舞鶴港の機能強化策  
②TSR輸送の促進  
③物流・人流需要創出策



## 大阪湾における船舶運航サポート情報提供

大阪湾は・我が国有数の船舶輻輳海域  
・多くの漁船が操業する海域

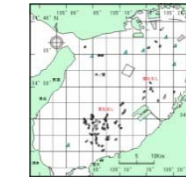
安全で効率的な船舶交通環境の構築が必要

海域利用者等で構成する「大阪湾運航サポート協議会」を設立(平成20年4月1日)  
「漁船操業情報」と「大阪湾全域レーダー画像」の情報を提供  
「津波等緊急情報」をメール配信(平成23年8月1日から)

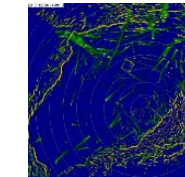
協議会の課題  
・組織基盤の強化  
・情報内容の充実



レーダーAIS重畳画像情報



関西空港レーダー画像情報



パッチ網操業状況図

## 関西の港湾活動の事業継続計画(BCP)策定に向けた検討(案) — 関西の産業活動を支える空港、道路とも連携 —

### 【目標】

災害時における港湾機能継続のための広域協働体制(港湾活動のBCP)を構築し、港湾活動の維持・早期復旧を目指す。

○港湾物流の特殊性から、港湾の機能継続は、港湾(航路、岸壁等)の機能、海運事業者や港湾運送事業者の機能、税関・出入国管理・検疫(CIQ)の機能、港湾に接続する主要道路の通行機能が整って、初めて継続を確保することが可能。

○このため、大規模災害発生時において、円滑な復興を果すため、国、各港湾管理者、港湾関係者等が関西全体として連携できる仕組みを作り、企業の参加も得た、港湾活動の事業継続計画(BCP)の策定に向けた検討を行う。

### 平成23年度の取組

- ・第1回大阪湾港湾機能継続計画推進協議会 設立 (H23.9.16)
- ・大阪港湾・空港整備事務所 災害時行動計画及び防災拠点職員行動マニュアルの作成
- ・東日本大震災に関する情報収集・整理
- ・港湾施設機能復旧部会 開催(第1回:H23.11.29 第2回:H24.2.16)
- ・第2回大阪湾港湾機能継続計画推進協議会 (H24.3.6 予定)

## グリーンベイ・大阪湾の形成に向けた取組 ～輸送モードのグリーン化・モーダルシフトの推進～

グリーンベイの形成は クリーンな輸送から

■ 海運・鉄道への  
モーダルシフトの推進  
啓発 及び  
ビジネスマッチングの切っ掛け作り

グリーン物流セミナーの実施(平成20年度より継続実施)  
対象: 荷主事業者、物流事業者  
内容: 実践企業による事例紹介や施設、荷役の見学等

海運版 H23.9.18 実施  
参加67団体119名

鉄道版 H23.10.20 実施  
参加75団体140名



国・自治体等の支援策

- モーダルシフト等推進事業 ... 運行経費に対するインセンティブ  
・港湾管理者が行う阪神港への集荷策(インセンティブ)との重複利用が可能!
- フェリー事業の維持・活性化の実現  
・省エネ設備、シャーシ等輸送機器導入等に対する補助  
・利用客拡大の連携策の実施(フェリー見学会、ファミトリップにおける商談会 等)
- 港湾使用料の減免等

## 災害に強い物流システムの構築に向けて

### 東日本大震災における支援物資物流の状況(問題点)

- 道路等の交通インフラの大規模な被災
- 燃料油の不足
- 物流のノウハウ不足などにより、円滑な物資輸送や物資拠点運営等に支障
- 被災地関係情報、物資関係情報等の把握が困難等により、避難所への支援物資に混乱

### 民間の施設・ノウハウを活用した災害に強い物流システムの構築に関する協議会(近畿)

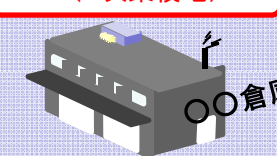
- 国、近畿2府4県、関西広域連合、有識者、倉庫協会、トラック協会、物流事業者等で構成
- 各府県の防災計画上の支援物資物流の現状を調査し、課題を整理、今後の支援物資物流のあり方を示す。  
●今後の支援物資物流における、国・自治体・物流事業者等の役割分担を明確化(国のリエゾン、自治体による一元物資情報管理、民間事業者による広域物資拠点の運営委託等)
- 民間施設を利用した「広域物資拠点施設」のリストアップ

### 災害協定の締結

物流関係団体と自治体の災害時における施設の利用、物流事業者関係者の広域物資拠点への派遣を含めた協定の締結・見直し

### 地域防災計画への反映

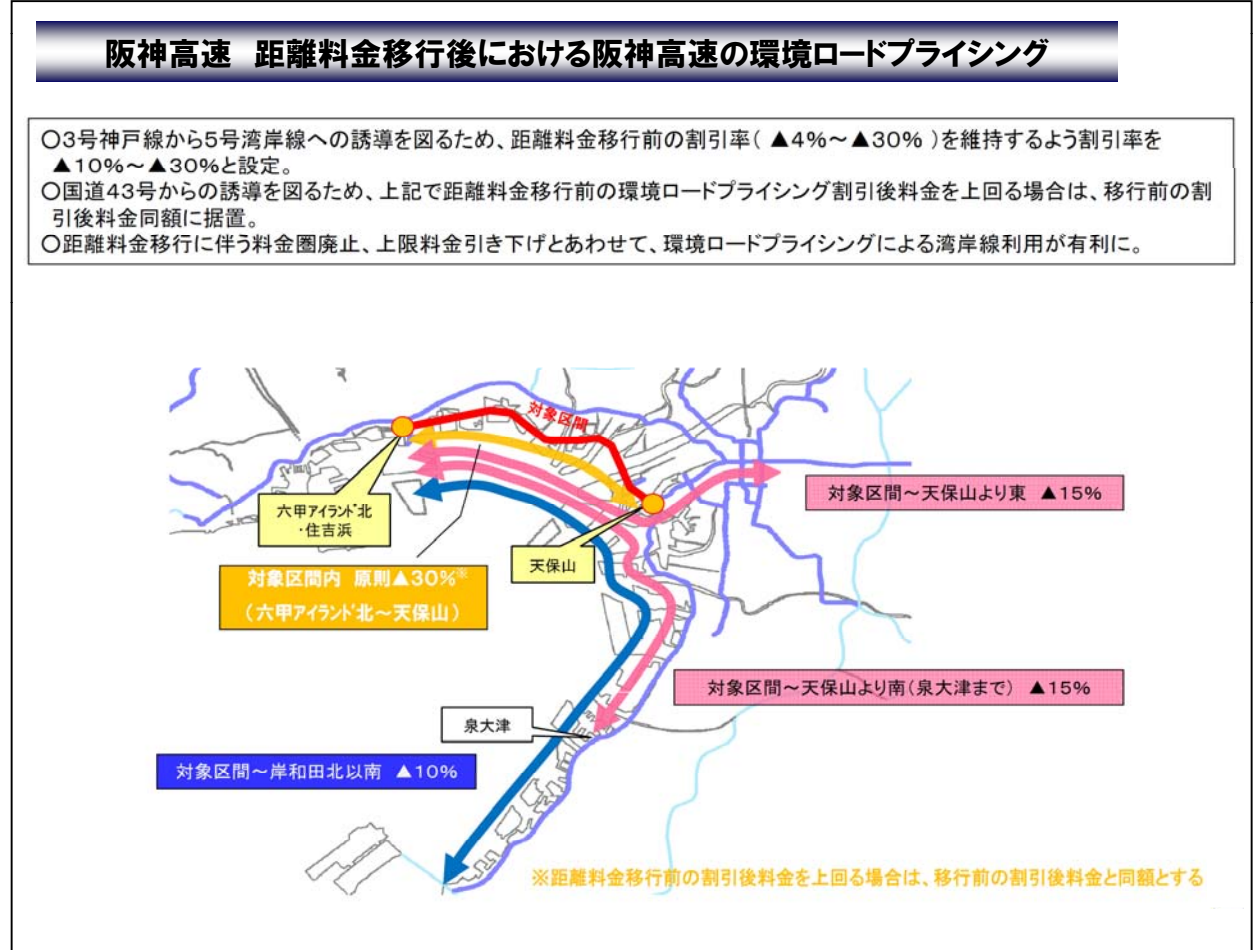
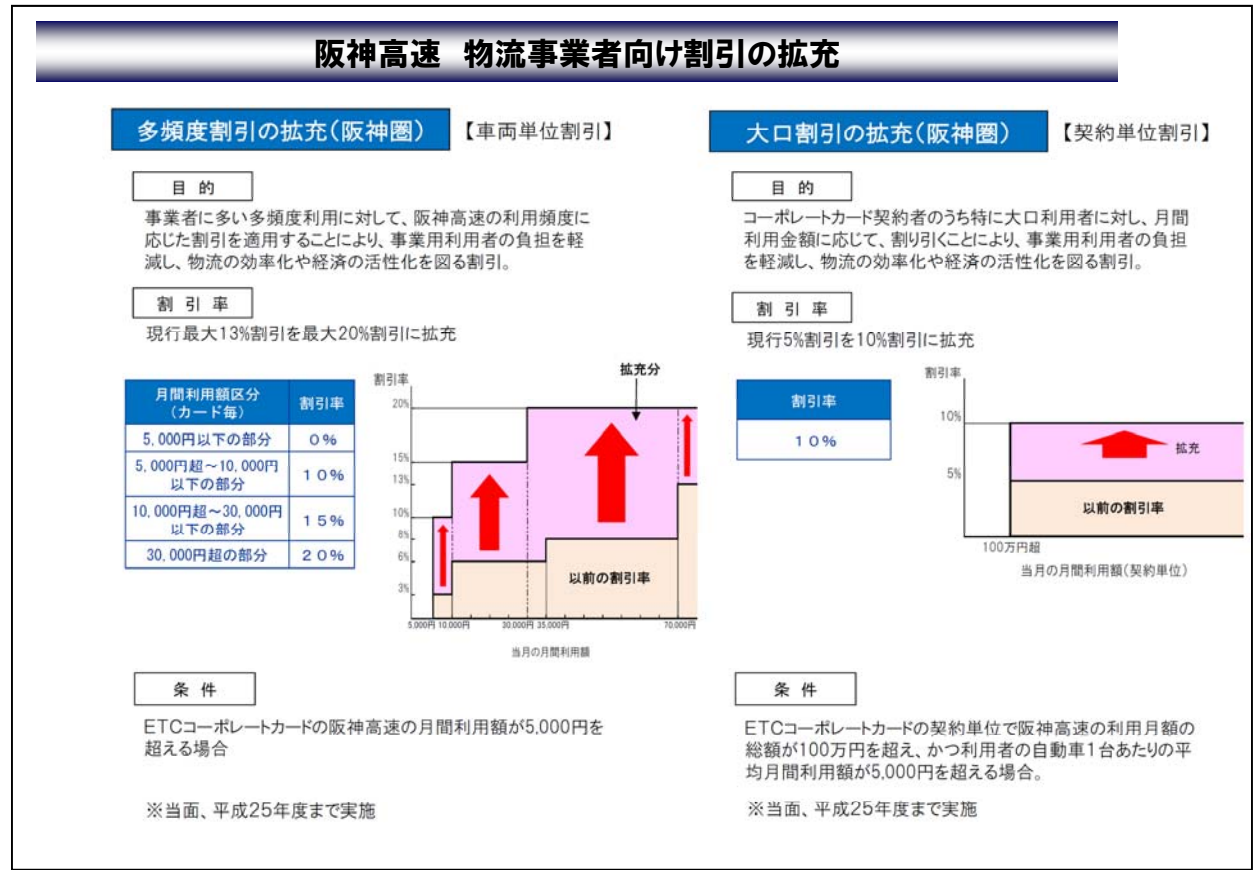
広域物資拠点施設  
(1次集積地)



災害時に物流施設の機能維持を図るための投資に、整備費用の一部を補助

非常用発電設備

非常用通信設備

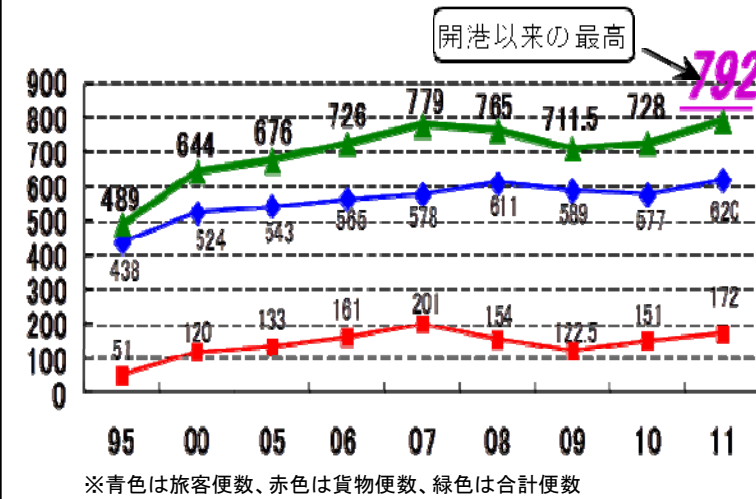


# 《海港と空港の連携》 関西国際空港における航空物流機能強化の取組

平成24年3月14日  
国際物流戦略チーム第8回本部会合  
資料2

## 関空の国際線便数・ネットワーク

### (便/週) 国際線(冬期スケジュール)就航便数 推移



### ■ 国際線の方面別便数(11年冬期スケジュール)

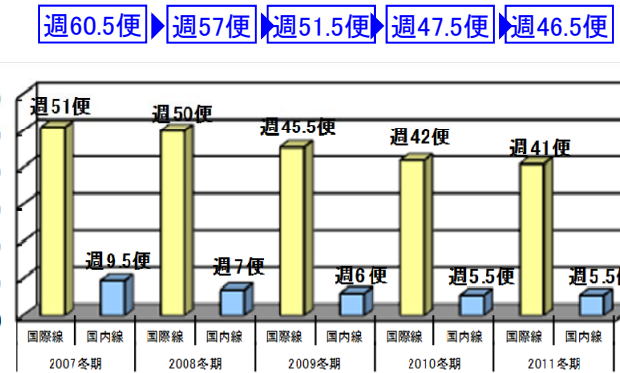
方面	全体	うち、貨物便
アジア (うち、中国)	週605.5便 (週281.5便)	週128.5便 (週75.5便)
北米	週50.5便	週35.5便
ヨーロッパ	週39便	週8便
その他	週97便	—

※国内地点除く

### ■ 今年度における主な貨物便の増便

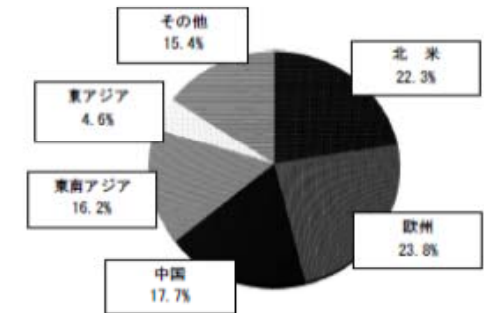
- 中華航空 CHINA AIRLINES  
2011.10～  
台北→関空→シカゴ線  
週3便新規運航
- シンガポール航空 SINGAPORE AIRLINES  
2011.5～  
関空→シンガポール(香港経由)  
週2便新規就航

### ■ 関空深夜早朝便(23:00-翌6:00)の推移



2007年8月の2期開港依頼、深夜早朝便はおおむね高い割合を維持(11年冬期の貨物便週便のうち、約30%が深夜早朝便)

### ■ 貨物便就航路線ニーズ調査結果



欧米方面への就航、貨物需要が旺盛な東南アジア路線を望む声が増加

調査対象：関西に生産・物流拠点をもつ企業等 全103社  
調査期間：2011年9月  
※近畿運輸局により後背地貨物動向調査を実施中

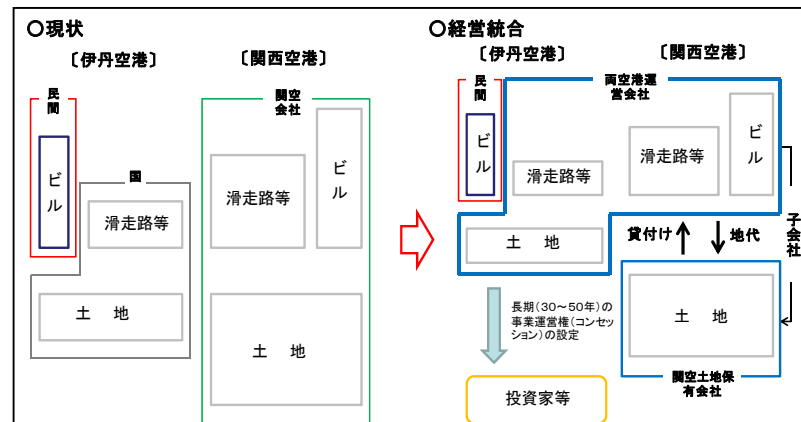
## 関空のバランスシート改善による積極的強化

### 関西国際空港及び大阪国際空港の一体的かつ効率的な設置及び管理に関する法律(平成23年5月17日成立)

関西国際空港(関空)及び大阪国際空港(伊丹)の設置・管理を行う新関西国際空港株式会社を設立するとともに、公共施設等運営権の設定(コンセッション)を通じた関空債務の早期かつ確実な返済を図る。これにより、関空の我が国の国際拠点空港としての機能の再生・強化及び関空・伊丹の適切かつ有効な活用を通じた関西における航空輸送需要の拡大を図り、我が国の国際競争力の強化及び関西経済の活性化に寄与する。



平成24年7月1日経営統合



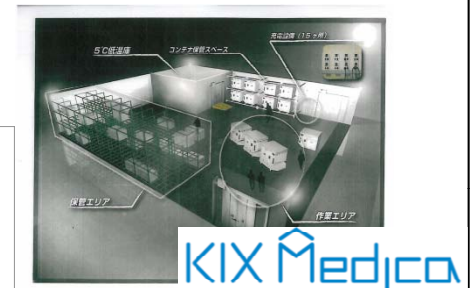
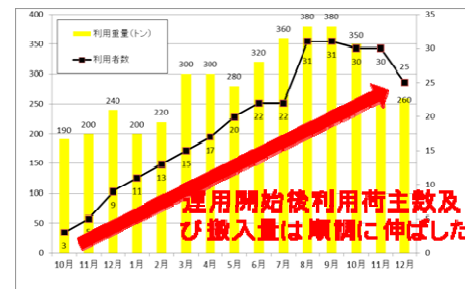
## 関西国際空港における医薬品輸送の取組み『創貨の取組①』

- 空港内において、医薬品における【温度管理】事故が多く発生。
- 多くの医薬品メーカーから、**空港内に医薬品専用の導線が欲しい**とのニーズ

平成21年度関空物流ニュービジネスモデルにてCKTS(株)による医薬品専用共同定温庫設置・調査を認定

2010年9月国内空港初医薬品専用共同定温庫オープン

### ■ 利用荷主数・搬入量推移



- 「国際戦略総合特区」と協調した取組
- ①薬監証明手続の電子化・簡素化
- ②医薬品輸送の「ガイドライン化」

## 『食』輸出拠点化事業・KIX AIR CARGO MEETING等『創貨の取組②』

### ■ 関空『食』輸出拠点化事業

「食」輸出セミナー  
国内のすそ野を広げる



### ■ 『ALL関西フェスティバルinバンコク』(2010年度実績)

→関空を利用した『食』輸出の拡大と文化事業PRによるインバウンド拡大の取組



近江牛、鮮魚が継続取引に(2012年度はバンコク・マカオでの開催を予定)

### ■ その他の取組

- 平成23年度関空物流ニュービジネスモデルを昨年、一昨年に引き続き募集(2012年1月23日～3月9日)
- KIX AIR CARGO MEETING 2012の開催(4月17日『食』輸出セミナー、その他ニーズに応じての開催を予定)